

男はつらいよ 寅次郎あじさいの恋

観賞日 2024年5月13日 上映時間 110分

【概要】

制作 1982年 松竹

監督 山田洋次

脚本 山田洋次、朝間義隆

音楽 山本直純

撮影 高羽哲夫

出演 渥美清（車寅次郎）、倍賞千恵子（さくら）、いしだあゆみ（かがり）

下條正巳（車竜造）、三崎千恵子（車つね）、諏訪博（前田吟）、太宰久雄（たこ社長）

片岡仁左衛門（加納作次郎）、柄本明（近藤）、津嘉山正種（蒲原）



【あらすじ】

葵祭りの京都。鴨川べりで困っていた老人を助けた寅さんは老人に誘われて一杯ご馳走になる。すっかり酔いつぶれた寅さんは翌朝目覚めてびっくり。その老人は陶芸家で人間国宝の加納作次郎だった。加納の弟子の蒲原が結婚することになり、その報せを聞いたお手伝いのかがりにはショックのあまり故郷の丹後に帰る。心配した寅さんも丹後にかがりを訪ね慰める。柴又に戻った寅さんの所に、そのかがりが突然会いにくる。別れ際、かがりから渡された文には「日曜日に鎌倉で待っています」と書かれてあった。モテることに不慣れな寅さん。いつもと様子の違う寅さんにちょっぴり失望したかがりはその日のうちに京都に帰る。柴又に戻った寅さんも失意の旅に出る。信州の城下町で商売をしていた寅さんの前に現れたのは・・・。

笑って、泣かせる人情喜劇の決定版。第29作はメロドラマ仕立てで、モテる寅さん。

【解説】

■ポイント

●男はつらいよシリーズ・共通のテーマ

寅さん：根無し草、自由人、不安定な生活

とらやの面々：定住、地道な生活

●本作（シリーズ第29作）、

・ロケ地：京都（市内・丹後伊根）、鎌倉・江の島、長野（大町）他

・ゲスト：いしだあゆみ（マドンナ）、片岡仁左衛門、柄本明他

■見どころ

●エピローグ

漂泊の絵かきの話は秀逸

●いつもと違いモテる寅さん

毎回、マドンナにふられる寅さんが本作では珍しくモテる役に

●伊根の舟屋の美しい風景

●人間国宝の傑作をそれと知らずにそんざいに扱う寅さん、灰皿代わりに使うたこ社長